

【平成30年度 矢口東小学校授業改善推進プラン】

家庭科における平成29年度の授業改善推進プランの検証

取り組みにおける成果と課題

- ・ 家庭生活の意義や在り方を理解することはできた。また、調理実習や裁縫などの具体的活動はとても意欲的に行い身に付いたと考えられる。
- ・ 家族や家庭の生活に目を向けるようになった。それを自分の生活の中で日常的に生かせるようにすることが今後の課題である。
- ・ 基本的な技能はほぼ身に付いている。しかし、創意工夫をこらして調理したり、布の特性を生かした作品を作ったりすることに課題が残る。

家庭科における観点別分析

	家庭生活への 関心・意欲・態度	生活を創意工夫 する能力	生活の技能	家庭生活についての 知識・理解
観点別 結果の 分析	衣食住の中でも、特に衣食について関心が高い。調理実習や裁縫などは意欲的に取り組む。 一方、学んだことを自分の生活の中で生かそうとする児童とそうでない児童の二極化が見られる。	自分の生活において、課題を見つけようとすることができる。調理実習や裁縫などで、自分で考えて工夫できる児童がいる一方、教わった通りには取り組めるが工夫するまでには至らない児童が見られる。	基礎的な技能はほぼ身に付いていると考えられる。集中して取り組むこともできる。しかし、裁縫では技能取得までに時間を要する児童がいる。	衣食住や家族の生活に関する基礎的なことについては大体の児童が理解している。

授業改善のポイント

- ・ 児童一人一人が学習に興味・関心をもち、自分で考えて行動できる力の向上を図る。
- ・ 家族の一員として課題をもち、解決しようとする力の育成が必要と考える。
- ・ 学習したことを自分の生活の中でも生かしていける力を養う。
- ・ 自分で考え、創意工夫ができる題材の与え方や手立てを工夫する。

家庭科の授業改善策

・学習に興味・関心をもち、自分で考えて行動できる力の向上を図るために

- 具体的に
- ① 興味・関心をもち、思考を深めると考えられる教材や教具の活用に取り組む。
 - ② 児童一人一人のよさや、可能性を生かすことができるような教材や題材の構成に取り組む。
 - ③ 自分で考え、創意工夫できる教材や題材、手立てを設定する。
 - ④ 自分の生活における課題を解決するために、生活をよりよくする方法を考えて話し合ったり、体験したことをまとめて発表したりする学習活動を充実させる。

・家族の一員として課題をもち、解決しようとする力の育成のために

- 具体的に
- ① 主体的に調べたり観察したりする学習を繰り返し行えるような指導計画作りに取り組む。
 - ② 課題解決の過程で児童が自分で学習を深めていける授業の構成に取り組む。
 - ③ 調理実習の体験を通して、食育の大切さを学ばせるとともに、自分の生活の中でも取り入れ、家庭での自分の役割を自覚し、果たせるようにする。
 - ④ 学習したことを自分の生活の中で実践できるような授業の構成や課題提示に取り組む。